

科学に潜む危険



新潟県立村上高等学校
同窓会長 瀬賀 弘行
(27回生)

コロナが終息しないうちに、コロナよりも、もっとひどいことが起こってしまいました。同窓の皆様もプーチンの振る舞いに、大いに憤慨していらっしゃること、お見舞い申し上げます。

世界の民主主義は未発達で、ときどき、こういう指導者を出してしまいます。このような不安定な世の中に、原子力の巨大なエネルギーは、まことに不釣り合いだと思わざるを得ません。

核兵器の破壊力に強い危機感をいだいた哲学者のラッセルや物理学者のアインシュタインは1955年、「ラッセル・アインシュタイン宣言」を発表しました。その宣言は冒頭で「私たちは人類が直面する悲劇的な情勢のなかで、科学者たちが会議に集って、大量破壊兵器の発達の結果として生じてきた危険を評価し、ここに考えられた草案の精神において決議を討論すべきであると感じている」と述べます。結語は「私たちは、人類として、人類にむかって訴える。あなた方の人間性(humanity)を心にとどめ、そして、その他のことを忘れよ。もしそれができるならば、道は新しい樂園へと向かって開けている。もしできないならば、あ

同窓の訪れ

第72号

編集・発行

新潟県村上市田端町7番12号

村上高等学校内

新潟県立

村上高等学校同窓会

TEL080-7848-3494

メールアドレス

murakou-dousouka@outlook.jp

印刷

村上印刷株式会社

なた方のまえには全面的な死の危険が横たわっている」と強烈です。ここでいう「人間性」とは、朝永振一郎によれば「生き続けるための智慧」であり「その他のことを忘れよ」の「その他のこと」とは、「イデオロギー、国籍、人種、宗教等」です。

科学や技術は、一旦ヒトが手に入れてしまえば、必ず使われてきました。「これは危険な技術だ」と気づいたときには、世界が強力に介入して、その技術を進展



旧正門跡(現市役所北側)

新たな学びに向かつて



新潟県立村上高等学校
学校長 平山 剛
(36回生)

同窓の皆様におかれましては、日頃より、本校の教育活動に對しまして御支援を賜り、感謝申し上げます。本年4月に着任し、校務運営に当たっております。令和4年度が始まり、4ヶ月が過ぎました。本年度、本校は4学級募集でしたが、

定員割れが生じ、入学者は117人となりました。入学者数は減ったものの、新入生をはじめ、生徒は高校生活に希望を持ちながら、それぞれの進路の実現に向けて、日々勉強に励んでおります。今後は、地域の中学生や保護者に本校の教育活動を理解してもらうとともに、本校が育んできた校風が評価され、信頼される高校であり続けるために、学校の教育活動を一層充実させていくことが必要であると考えております。

生徒が学ぶことに意義を見だし、学校に誇りを感じるためには、教員が質の高い授業を提供することが大切です。現在、国が進めるGIGAスクール構想のもと、1人1台のタブレット端末環境が整備され、ICT機器を最大限に活用した学びの保障が求められています。また、新学習指導要領の実施にともない、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、

させず、捨て去る仕組みも必要でしょう。このような問題を考える訓練が、われらが村上高等学校でも行われているはずですから。そこを巣立つ若者が、人類の幸福に貢献してくれることを願ってやみません。

総会・懇親会中止のお知らせ

新型コロナウイルスの感染症の収束が見通せないことから、残念ながら今年度も総会及び懇親会を中止することいたしました。

総会中止に伴う令和3年度事業報告・決算報告、同4年度事業計画・予算書(案)等の議決は、会則13条により理事会にて議決させていただきますので、何とぞご了承ください。

《村上高等学校同窓会会則》

第13条 理事会は、緊急事項があれば総会に代わって議決することができる。

育成する「個別最適な学び」と子どもたちの多様な個性を最大限に生かす「協働的な学び」の充実も求められています。このため、教員はICTを活用した主体的・対話的で深い学びとなる授業を行い、生徒の学習状況を適正に評価するための研修や準備の時間を確保しなければなりません。現在、学校は教員の業務負担軽減を図るために、各種業務の見直しや精選を行うとともに、ICT機器の利活用により、授業の質が高まり、校務の効率化により教員の働き方が改善されるような環境整備に努めているところです。

本校生徒が、教員の指導のもと、教養を高め人格を磨き、将来、地域社会や世界の舞台で活躍できる人材となるよう、教育活動を推進してまいりたいと思います。

高校時代の思い出 ふるさとへの想い

旧校舍編



加藤 悦郎

(13 回生)

村上まつり保存会会長
田村酒店社長



私は村上まつり保存会の会長を務めている。平成三十年三月に「村上祭の屋台行事」は重要無形民俗文化財に指定された。大変喜ばしい事である。今年の大祭は当たり前であれば三八九回目の祭りである。二年間おしやぎりを出せず三年ぶりの祭りとなるが、コロナ禍の中で規模を縮小し、感染リスクを抑えてやる事になった。七日の朝羽黒神社に詰めて御神輿に供奉し、小町まで巡行。その後各町内に戻る事になった。昭和三十九年六月の新潟地震の年でも中止であったが、今年なりに賑やかな祭りになるよう祈念している。

さて、高校時代の祭りといえば運動会の仮装である。三年六組の出し物は平安時代の牛車にお姫様。本物の牛を使うからと頼まれ、店のトラックで牛を借りて

行った。家は酒屋で酒は配達しているが、生きた牛は初めて。その日六組の男子は生徒玄関の下駄箱を囲んで牛小屋を作り、牛と一緒に寝た。

私の三年一組の教室は大町側の二階で、私の席は窓際で映画館文映の音楽などよく聞こえた。ある時窓の下で友達の間屋の番頭さんがジェスチャーで汽車が転覆したと知らせしてくれた。私と風間浩は先生にバレないようにほふく前進で教室を出て、バイクで岩ヶ崎の現場に到着。機関車が土砂に乗り上げ横倒しになっていた。触ったら熱かった。機関車のプレートにはC571。昭和三十六年二月九日十三時四十五分の出来事だった。その後昭和四十七年の植樹祭のお召し列車になり村上まで来た。現在、貴婦人の名で萩津和野を走っている。私は萩まで会いに行ってきた。C571はモクモクと煙を上げ元気に走っていた。

村高では年に一度火災想定避難訓練をやっていた。三浦先生には「学校の近くの者もし学校が火事になったら、まず図書室の本を出せ」と言われていた。昭和四十五年五月十五日、藤基神社の祭りの日の未明、学校が火事になった。その夜



私は近所の矢部英夫（十六回生）と仕事を終えて、ベニヤ板で作ったキス釣り用の船の準備をしていた。何

かきな臭い！消防団だった私は、近所を起こして何か燃えてないか聞いて回ったが何事もなかった。準備が終わり寝たその時、サイレンが鳴り外は真っ赤に。学校が火事だ!! ポンプを東鰻頭屋脇の消火栓から放水。図書室に走ったが図書室は自分たちがいた時と別の場所に移っていた、とうとう辿り着けなかった。空が明るくなりグラウンド側の校舎も焼け落ちていた。図書室の本が火の山となりまだ燃えていた。図書室には創立からの体育測定の高重な記録もあったそうだ。もしその時まだプールがあったらあんなに燃えなかっただろう。消防団はプールで放水をしていた。エンジンを止めても水は止まらず、みんながたまげた。サイフォンの原理か!!

グラウンドピアノは消防団が外に出して無事だった。あの窓からどうやって出したか誰もわからない。

私はこの火事の第一発見者として、警察から何回も同じ事を聞かれてまいった。おしまい。



昭和45年校舎炎上

高校時代の思い出 ふるさとへの想い

新校舎編



非常に有意義で可能ならその場に留まりたい時間でした。勉強程度知識がついた程度で特筆するものはありませんが、クラスメートや部活仲間との思い出やエピソードは書ききれないほどあり、友人も沢山できました。また部活動を通じて

会にはS幹事長の号令で十数名の同級生が参加して来年の同窓会は100名以上の同級生を集め盛り上げようと意気込んでいましたが、新型コロナウイルスの影響で中止となりました。しかし、それを機に作ったグループLINEには約50名が登録し近況報告や情報共有をしています。高校時代は私にとってかけがえのない時間で友人は宝物、死ぬまで大切にしたいと思っています。

と、受験勉強でいっぱいだった高校3年生のこと。今でも交流のある友人たちとのこと。

その中で、高校時代の思い出・記憶に残っている授業の話をしたことがあります。高校1年生の古典(漢文)の授業。「名馬(優れた人材)は常に世の中にいるが、その名馬を見抜く人(伯乐)が常に存在するとは限らない」という内容の漢文でした。その時私は、その一文に、特に「伯乐」という言葉に強く惹かれたことを覚えていています。「そういう伯乐のような人になってみたいな」と単純に思ったのでしよう。思い返してみれば、あの時何気なく思ったことが教員を志したきっかけだったのかもしれない。

思い出話だけではなく、「村上」そのものを授業で取り上げることもあります。村上で行われている「地域おこし」を題材にした授業です。村上をもっともつとよくしようという取組や人々の思いがあることを、恥ずかしながら私が授業で学ぶこともありました。

ふるさと村上から離れた地ではありますが、そんな村上のよさを授業を通して、広めていけたらなと考えています。



井上 健一
(32年生)

村上市岩船在住
会社員

私にとっての高校時代は、人生の中でもう一度戻れるなら何時と聞かれたら、高校時代と即答できるくらい今の自分の存在に大きく影響された時間でした。私の存在で高校時代嫌な思いをした方がいましたら申し訳ありませんが、私にとって



体育祭

卒業18年後から5年毎に開催している同級会には60人、100人が参加して、容姿は変わっても気持ちだけは高校時代に帰り交流を深めています。一昨年は村高同窓会の幹事当番となり、前年の同窓



教室で合宿



山貝 洋輔
(59年生)

新潟市在住
新潟市教員

村上高校を卒業し、私は中学校の教員をしています。高校受験を控えた生徒に、高校3年間で得た経験を、失敗を含めてよく話しています。勉強も部活も中途半端でどうしようもなかった高校1年生のこと、部活に明け暮れた高校2年生のこ



同窓会支部だより



関東支部
山本 宏平 (17回生)
同窓会の皆さんお元気でしょうか。

二年続きで「同窓の集い」中止であったので今年はなんとか出来るかと、あれやこれやと考えながら準備を進めてきたが、結局中止せざるを得ないことになりました。その他の支部活動については臥牛会・ゴルフ会は春秋二回、歴史散策は秋に行うようにしております。年一回発行の新聞「村高」33号を五月に発行することが出来たとしても会員との繋がりが途切れないよう、役員幹事皆さんが頑張ってください。この様な状況の中いかに会の運営を進めて行くか、またコロナ禍による社会のあり方が変わってきているので、その事も頭に入れてともかく頑張っていきたいと思っています。



関西支部
増井 清 (17回生)
同窓の皆様お元気でお過ごしでしょうか。2月の冬季オリンピックでは平野歩夢選手が金メダルで大いに盛り上がりました。その後新型コロナウイルスの第6波がまん延し始めました。関西支部総会は5月28日(土)に予定していましたが感染予防の為に中止とさせて頂きました。感染した場合の重症化や後遺症を危惧した為です。今年こそはと開催を楽しみにしておられた多くの会員の皆様には残念なお知らせとなりました。昨年は誌上同窓会を開催致しました。今年は事態好転を期待し、秋頃ハイキングを兼ねた懇親会の企画を予定しています。来年こそは関西支部総会を開催し全員元気で会合できることを心より願っています。



新潟支部
飯沼 和男 (19回生)
同窓の皆様、お健やかに過ごしていることと存じます。「新潟同窓会」として開催、県内外の支部のない地区からも多数の参加可能となりました。今年は「村上大祭」「新潟まつり」も開催されるので「新潟同窓会」も開催し、旧交を温め、異年齢交流、同・異業種交流等により出席の方々を人脈を広げる機会とし、久しぶりの会を盛り上げようと思っております。平山剛新校長先生は同窓で、お話を伺えるはずで。晩秋に開催予定して葉書や支部HPで御案内します。

結びに同窓の皆様方の御健康と御多幸、母校の益々の充実発展をお祈りし、「新潟同窓会」開催会場では元気な笑顔で御目に掛かりましょう。



新発田支部
大滝 昇 (16回生)
今年も4月の総会を中止して、3年過ぎました。とても長いトンネルです。活動といえば、総会中止のお知らせの通信費のみで、役員の選出や事業計画などはハガキにて簡易承認をお願いし支部を存続しています。

最近のニュースは、世の中を震撼させているコロナ禍に加えて、ロシアのウクライナ侵略です。これらの長期化による経済不安などもさることながら、私どもの生活文化に変化が生じ、母校愛・親睦精神・コミュニケーション・情報交換・人的交流などの不足が、同窓会の存続までも危うくしているのではと心配している今日この頃です。来年4月に向けての総会は、開催必須条件で検討していきます。



関川支部
伊藤 保史 (26回生)
コロナ禍のなか、皆様大変な思いをしてお過ごしのことと思います。

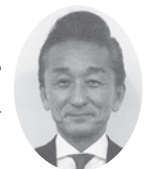
関川支部では令和三年度の総会は昨年に引き続き中止にしました。東京オリンピック後感染が下火となり秋ごろには開催出来るかと期待したのですが、今年一月頃よりオミクロン株が流行し、役員同志の連絡で中止を決定しました。この三年活動ができておらず、会員の減少もあり、今後の会の運営を憂慮しています。会は懇親も大きな活動目的であり、どの時点で懇親会などを再開するか苦慮しています。県内では冠婚葬祭でクラスターが発生した事例などが報告されています。本部や他支部の活動状況を参考にしながら、活動再開を考えて行きたいと思っています。



仙台支部
本間 弘信 (25回生)
コロナのパンデミック、ロシアの軍事侵攻、加えて宮城県は去年・今年と二年連続震度6強の地震に襲われるなど、最近ばかりは滅入ることばかり。どこかで好転してほしいものです。

大きな声で熱く思い出等を語るのが総会・懇親会。その行為が認められる状態にならなければ、仙台支部の総会・懇親会の再開は難しいと考えております。

七月中に私は4回目のコロナワクチン接種を終えているのですが、いろんなことをコロナ前に戻すには「ワクチンより、有効な治療薬だろー!」と考える私です。



群馬支部
石栗 秀明 (33回生)
『新潟の隣だし特急も止まるなあ』滑り止めで見つけた高崎の大学。新大にはフラれてしまいお世話になることに。気がつけば40年経ちました。魅力度では44位と最下位に近いですが、なかなかいい所です。今回は独断の群馬観光お薦めランキングをお伝えしようかと思っております。1位は三代名湯の一つ、草津温泉の湯畑、2位パワースポットと言われる榛名神社、3位エメラルドグリーンの奥四万湖、4位伊香保温泉の石段街、5位尾瀬国立公園、どちらも感動できる素晴らしい名所です。来てみれっしょ。

『新潟の隣だし特急も止まるなあ』滑り止めで見つけた高崎の大学。新大にはフラれてしまいお世話になることに。気がつけば40年経ちました。魅力度では44位と最下位に近いですが、なかなかいい所です。今回は独断の群馬観光お薦めランキングをお伝えしようかと思っております。1位は三代名湯の一つ、草津温泉の湯畑、2位パワースポットと言われる榛名神社、3位エメラルドグリーンの奥四万湖、4位伊香保温泉の石段街、5位尾瀬国立公園、どちらも感動できる素晴らしい名所です。来てみれっしょ。

各支部連絡先

◆関東支部長	山本 宏平	TEL 043-211-6031
◆関西支部長	増井 清	TEL 0721-25-8448
◆新潟支部長	飯沼 和男	TEL 025-233-7518
◆新発田支部長	大滝 昇	TEL 0254-22-2833
◆関川支部長	伊藤 保史	TEL 0254-64-1010
◆仙台支部長	本間 弘信	TEL 022-277-7654
◆群馬支部長	石栗 秀明	TEL 027-327-7104

[illegible]

役員名簿

母校だより



村上高校の現況



教頭 渡邊 幸晴

一八八人の新入生を迎え、令和四年度がスタートしました。コロナ禍により、令和三年度の修学旅行とその代替行事のスキー研修がいずれも中止となり、四月に入ってやっと一泊二日の三学年宿泊研修を県内で実施することができました。

一学年では新学習指導要領による授業が始まり、ペアワーク、グループワークや課題を終えた生徒が他の生徒を教える授業など、これまで以上に生徒の主体性を引き出す授業が展開されるようになっていきます。

ICT活用の面では、これまでも電子黒板を活用した授業が行われていましたが、それに加えて、生徒全員に配付されたタブレット端末を活用することが課題となっています。現在、調べ学習、Webアンケート、プレゼンテーション動画の撮影、感染拡大時の自宅待機生徒への授業配信などに使用していますが、今後はフォームの活用、画像の共有、共同編集、コミュニケーションツールの活用など、授業での利用場面を拡大することが求められています。

五月十四日(土)には二年間開催できなかったPTA総会を開催することができました。授業

参観、学年PTAを含め、多くの保護者が来校しまし

た。六月の体育祭も今年度

は有観客での開催となり、

学校はコロナ禍以前の姿に

近づきつつあるといったところ

です。



大学等合格状況

◆国公立大学 21名◆

新潟大学(7) 新潟県立大学(6)

群馬県立女子大学(2)、

秋田大学、山形大学、長岡技術科学大学

新潟県立看護大学、三条市立大学、

長野県立大学(各1)

◆私立大学 173名◆

青山学院大学(1)、明治大学(1)

駒澤大学(3) 専修大学(2)

主な大会結果

東洋大学(3) 日本大学(8)
新潟医療福祉大学(26)
新潟青陵大学(6) 他

◆短期大学 23名◆

山形県立米沢女子短期大学(6)

新潟青陵大学短期大学部(10) 他

◆専門学校 40名◆

新潟看護医療専門学校村上校(4) 他

◆就職 4名◆

胎内市役所(1) 海上自衛隊(1) 他

令和4年度新潟県高等学校総合体育大会

◎陸上競技部

男子800m優勝(北信越大会出場)

鷲尾遙人

◎ソフトテニス部

女子団体3位

女子個人3位

(全国高校総体、北信越大会出場)

関根優月 鍋倉暖衣 組

女子個人ベスト16(北信越大会出場)

奥村真咲 木村和楓 組

◎少林寺拳法

男子単独演武5位(北信越大会出場)

小栗隼斗

陸上競技部

悔いの残らない走りを



三学年 鷲尾 遥人

県総体では、予選から思い通りの走りができ、決勝で自己ベストを約3秒縮め、優勝することができました。この結果で満足せずに、目標であるインターハイ出場に向けて、まずは北信越大会の予選から気を抜かず、全力で走りたいと思います。今回は最初で最後のチャンスなので、自己ベストを狙いつつ、悔いの残らない走りが出来るように頑張ります。

※北信越大会で六位入賞。インターハイ出場を決めました。

ソフトテニス部

支えてくれた方々への感謝

三学年 関根 優月



私は、ソフトテニス部に所属しています。五月の県総体で三位になり、インターハイ出場を決めました。ずっと夢みてきた舞台で戦えること、今までご指導してくださった先生方やコーチの方々、全てのことへの感謝の気持ちを忘れずに自分を信じて、村上高校生らしく元気に明るくプレーできるように頑張ります。



◆在籍生徒数

学 年		1 年	2 年	3 年	計
学 級 数		4	4	4	12
生徒数	男	57	77	68	202
	女	61	57	62	180
	計	118	134	130	382

(令和4年5月1日現在)

◆卒業生数

旧制 村上中学校	2,874名	新制 村上高等学校	21,680名
併設中学校	96名	同定時制 本分校	5,340名
卒業生総数		29,990名	

◆カリキュラム 令和5年度入学生教育課程（予定）

時間 単位		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
1年	共通	現代の国語 2	言語文化 2	地理総合 2	歴史総合 2	数学Ⅰ 4		数学A 2		化学基礎 2	生物基礎 2	体育 3	保健 1	芸術選択 2	英語 コミュニケーションⅠ 4		論理・表現Ⅰ 2		家庭基礎 2		探究の時間	総合的 探究の時間	LHR												
	文系型	論理国語 2		古典研究 3		現代文学 探究 2		公共 2		数学Ⅱ 4		数学B 2	物理基礎 2	世界史探究/日本史探究 4		体育 2	保健 1	英語 コミュニケーションⅡ 4		論理・表現Ⅱ 2		情報Ⅰ 2		探究の時間	総合的 探究の時間	LHR									
2年	理系型	論理国語 2		古典研究 2		地理研究 2		公共 2		数学Ⅱ 4		数学B 2	物理基礎 2	理科総合 2		物理/生物 2		体育 2	保健 1	英語 コミュニケーションⅡ 4		論理・表現Ⅱ 2		情報Ⅰ 2		探究の時間	総合的 探究の時間	LHR							
	文系型	論理国語 4		古典探究 3		日本史演習/世界史演習 4		倫理/政治・経済 4		選択A群 4		選択B群 2		選択C群 2		英語 コミュニケーションⅢ 4		論理・表現Ⅲ 2		探究の時間	総合的 探究の時間	LHR													
3年	I型	論理国語 2		古典探究 2		地理探究 2		数学Ⅲ 4		数学C 3		物理/生物 5		化学 5		体育 3	英語 コミュニケーションⅢ 4		論理・表現Ⅲ 2		探究の時間	総合的 探究の時間	LHR												
	II型	論理国語 2		古典探究 2		地理探究 2		数学探究 4		数学C 3		物理/生物 5		化学/理科基礎活用 5 / 3・2		体育 3	英語 コミュニケーションⅢ 4		論理・表現Ⅲ 2		探究の時間	総合的 探究の時間	LHR												

3年生では個々の希望に合わせた講座を選択できます。理系では3年生で理系Ⅰ型(理工業進学希望者)、Ⅱ型(看護医療系希望者)に分かれます。

【選択A群】数学探究(4)、数学C(4)、近代文学探究(2)、英語探究(2) 【選択B群】理科セミナーⅠ(2)、理科セミナーⅡ(2) 【選択C群】理科セミナーⅡ(2)、スポーツⅡ(2)

2022年学校行事
4月～6月



県総体壮行会



体育祭



公開授業



校外学習

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

新入会員 151名


 ありがとうございます


定関23堀	定関20營	定関18高	定関15石	定関14近	定関14小	定関11中	定関10伊	定関10東	定関8口	全荒3佐藤	全荒1高橋	定荒18平田	定荒14豐嶋	定荒11齋藤	定岩23押切	定岩21齋藤	定岩11竹内	定岩10佐藤
隆	惣		尚	克	文	勝	省	マ	弘	正	益	イ	友	清	金			勇
義	平	元	武	己	司	正	三	キ	良	美	靈	夫	工	郎	巳	一	稔	作

令和3年度村上高等学校同窓会決算書（見込み）

(令和3年8月1日から令和4年7月31日)

収入の部

科 目	決算額	内 訳
会 費	4,514,500	入会金 2,000円×151名 年会費 2,000円×151名 会 費 2,000円×1,715名(大口10万・5万・3万・2万・1万 計27名)
雑 入	52,589	名簿・記念誌販売 利息
寄 付 金	0	関東支部総会中止
前年度繰越金	9,046,595	
計	13,613,684	会費の減収:会員の収入減

支出の部

科 目	決算額	内 訳
会 議 費	1,184	総会・理事会・部会 支部総会の中止による減
事 務 費	1,263,141	
人 件 費	980,960	支部総会中止による出張旅費の減 事務補助費(臨時)
福利厚生費	0	
消 耗 品 費	31,480	コピー用紙等事務用品
通 信 費	199,716	インターネット代・郵送料・電話代・ハガキ代 ホームページサーバー使用料 ホームページ更新管理料
賃 借 料	30,305	コピー機カウント料
会費徴収費	20,680	「会費納入」通知料 148回×@110 支部会費徴収還元金等(関川支部)
事 業 費	2,644,730	
広 報 部	2,644,730	「同窓の訪れ 第71号」 令和3年8月発行費用 ・印刷梱包費 20,000部 ・送料 ・新聞広告
行 事 部	0	総会・懇親会中止 村高芸術鑑賞会 中止
助 成 費	245,000	
生 徒 会 活 動 補 助	245,000	全国・北信越大会等出場激励費 ウイルス関連での大会減 生徒会活動支援 200,000
支部助成費	0	支部総会中止により支部活動助成費 無
積 立 金	300,000	記念事業積立金
雑 費	54,865	振込手数料 他
予 備 費	1,259,431	高校案内パンフレット助成 30,000 事務所移転に伴う費用 パソコン購入 エアコン取付
合 計	5,768,351	

收入 13,613,684 - 支出 5,768,351 = 7,845,333

令和2年度まで積立金	300,000
現金 普通預金	0
令和3年度積立金	300,000
合 計	600,000

郵便普通	1,931,632
信金普通	5,744,028
第四普通	102,749
現金	66,924
合 計	7,845,333

詳細はホームページをご覧ください

村上高等学校同窓会

检索



物故連絡・住所変更・氏名変更の場合は、
振込用紙通信欄かメールにてご連絡くだ
さい。

なお、物故連絡は基本的にご家族の方が
お願いします。

メールアドレス：murakou-dousoukai@outlook.jp



◀携帯・スマホからも
連絡できます！

121212111110109 9 8 8 7 7 7 7 6 6 6 6 6 6 5 5 5 4 4 3 3 2 1 全併444443424040403836旧
日中1制中

早川	佐藤	池田	近藤	小野	渡辺	富樫	山田	長浜	森山	藤井	渡辺	堀川	稲垣	横山	中村	高野	小田	大平	荒木	遠山	鈴木	斎藤	樋口	小川	本間	田中	脇田	奥村	石山	小田	平山	清野	大滝	高橋	吉田	安藤
たつ	文治	志朗	治雄	柁四郎	芳三	忠利	嘉彦	ケイ子	左門	勝人	岩雄	正晴	恵造	村男	右一	イク	智子	恵吾	廣	繁	八十二	誠一	耕二	芳郎	常雄	正英	陽一	英策	仁	潤	靖夫	源一	雄三郎	牧夫	弘	

旧職員 定関 20 定関 9 定関 9 定荒 6 定荒 18 定岩 12 定朝 20 定朝 8 定夜 3 定夜 17 定夜 12 定夜 12 定夜 11 定夜 9 定時制 6 443832292928282624221817161615141414141413

長谷川周寿	米野 真一	高橋 敏雄	池田 正志	平田 隆	伊藤 和雄	丸岡 隆二	斎藤 昭二	井藤 英夫	桑原 邦彦	田村 忠	八藤後光子	樋口トミ子	木村 征市	佐藤 清	細野 裕三	高瀬 美子	渋谷 一成	金塚 京子	斎藤 一也	丹 津与志	石田 芳明	加藤 栄	小田 藤夫	鈴木 三成	三国 哲朗	太田 直也	高橋 正平	佐藤 博明	笹本フミ子	渡辺 勝利	吉田 和子	成田 善一	長田 タミ	鳥屋 侃司	五十嵐彰三	板垣 成也
-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。
(事務局にお知らせいただいた方が主です。)



編集後記

「堅忍不拔」とは、どんな事があっても心を動かさず、じっと我慢して堪え忍ぶこと。校歌の歌詞にもあり、その言葉の響きに懐かしさを感じる同窓生も多いかと思います。一昨年からの新型コロナウイルス感染拡大の波に世界の人々が混乱する状況の中、「同窓の訪れ」の編集の場で久しぶりに「堅忍不拔」の言葉を聞き、あらためてその精神に感じ入ったところです。

さて、広報部会も大幅に役員が入れ替わり、新たな体制での第72号の発行となりました。例年ですと、前年の総会等の報告や当年度の開催案内が主となるのですが、一昨年の中止により昨年は学校創立120周年記念事業を、そして、今年は何を載せようかと苦心しました。例年とはだいぶ異なる紙面となりましたが、ご感想はいかがでしょうか。

また、お届けする封筒の色も、村上茶を連想させる爽やかな色に変更しました。

同窓のつながりを深め、より強い絆を築くため、来年は是非ともにぎやかに総会・懇親会が開催できますことを祈ります。

編輯委員

小田兼人・圓山文堯・奥村直子
大滝可子・渡辺滋子・野澤裕美子
渡邊 昌・長郷直文・高橋睦美
山田裕美・木ノ瀬勉

